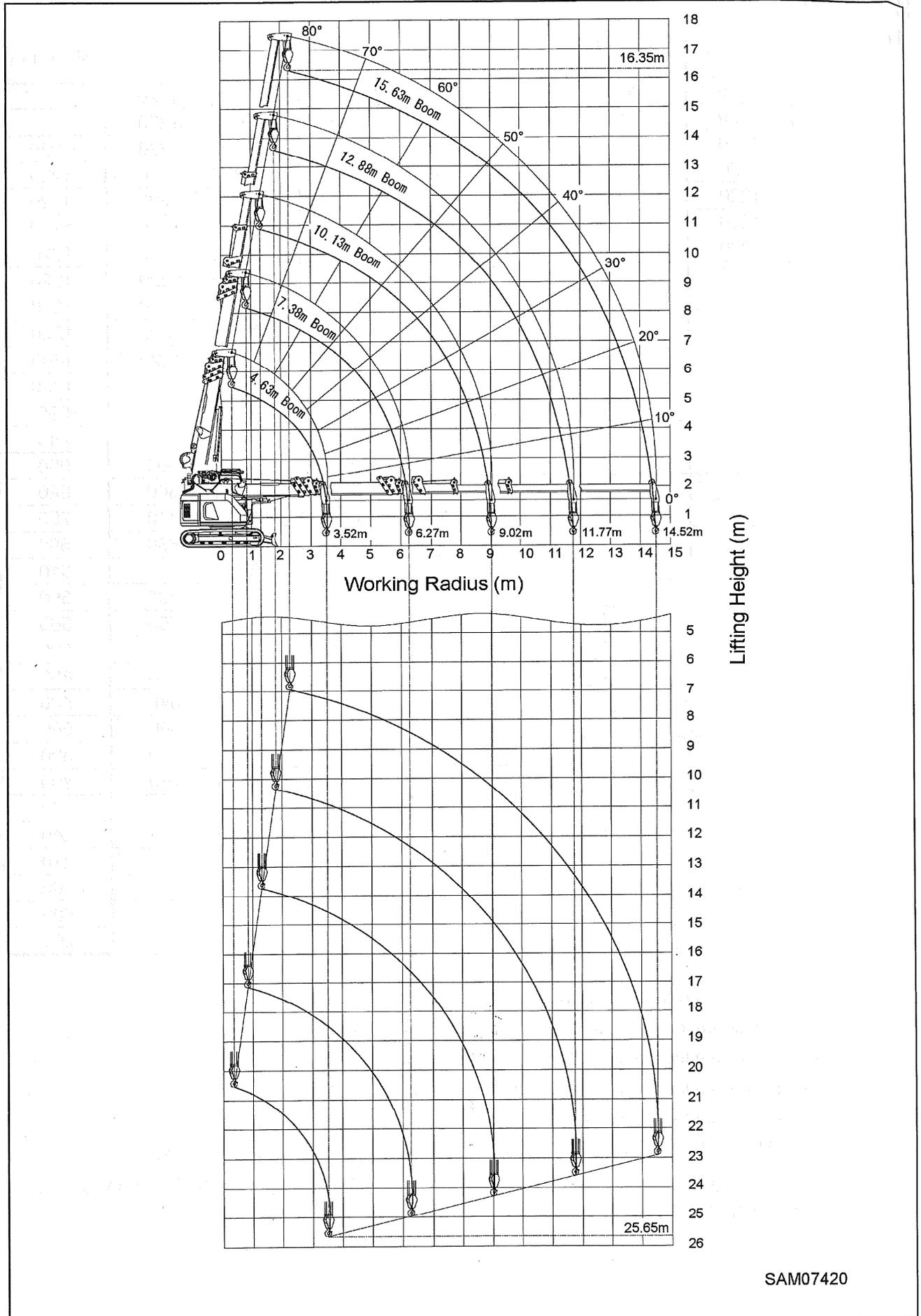
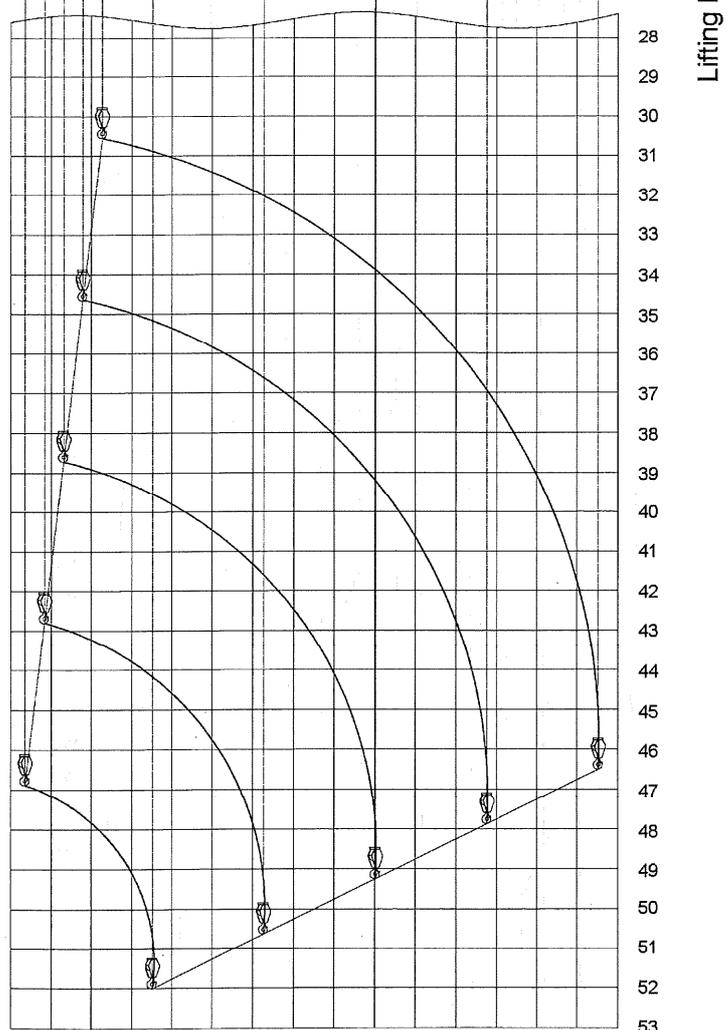
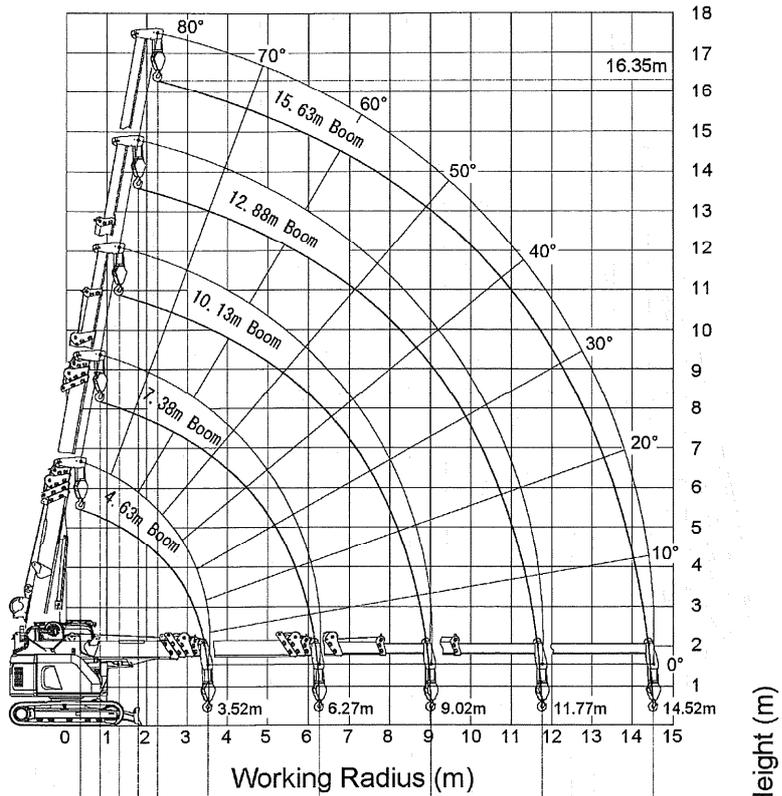


4. WORKING RADIUS AND LIFTING HEIGHT

WORKING RADIUS AND LIFTING HEIGHT AT WIRE ROPE 4 FALLS

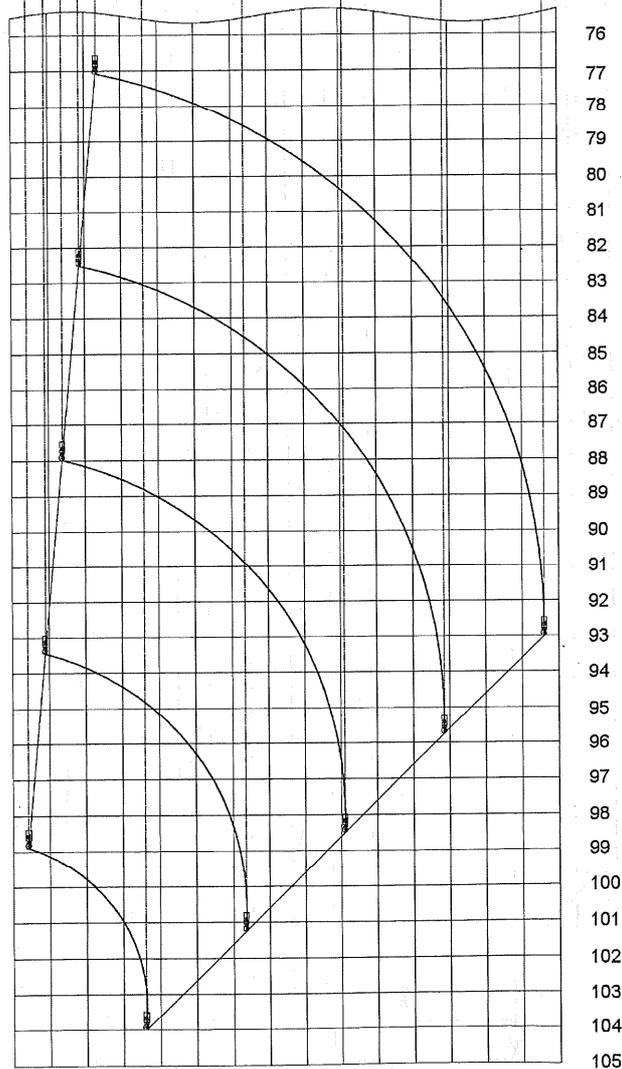
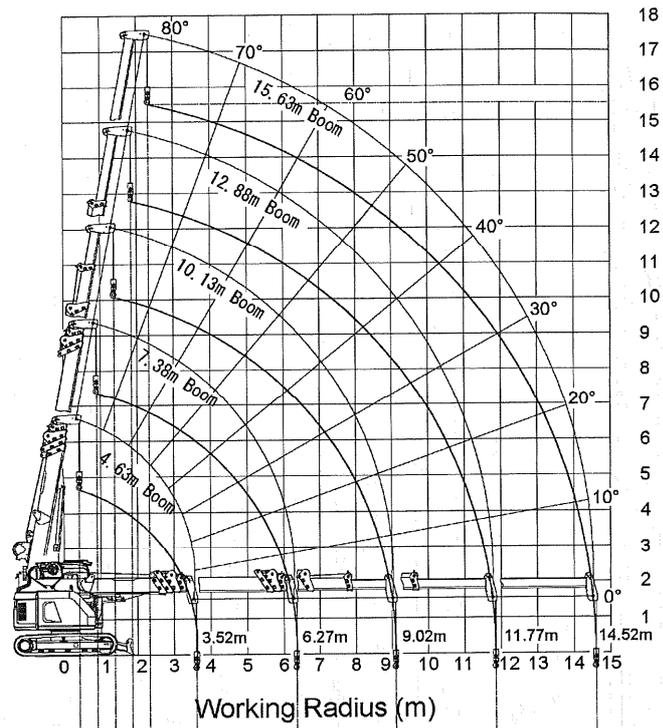


WORKING RADIUS AND LIFTING HEIGHT AT WIRE ROPE 2 FALLS

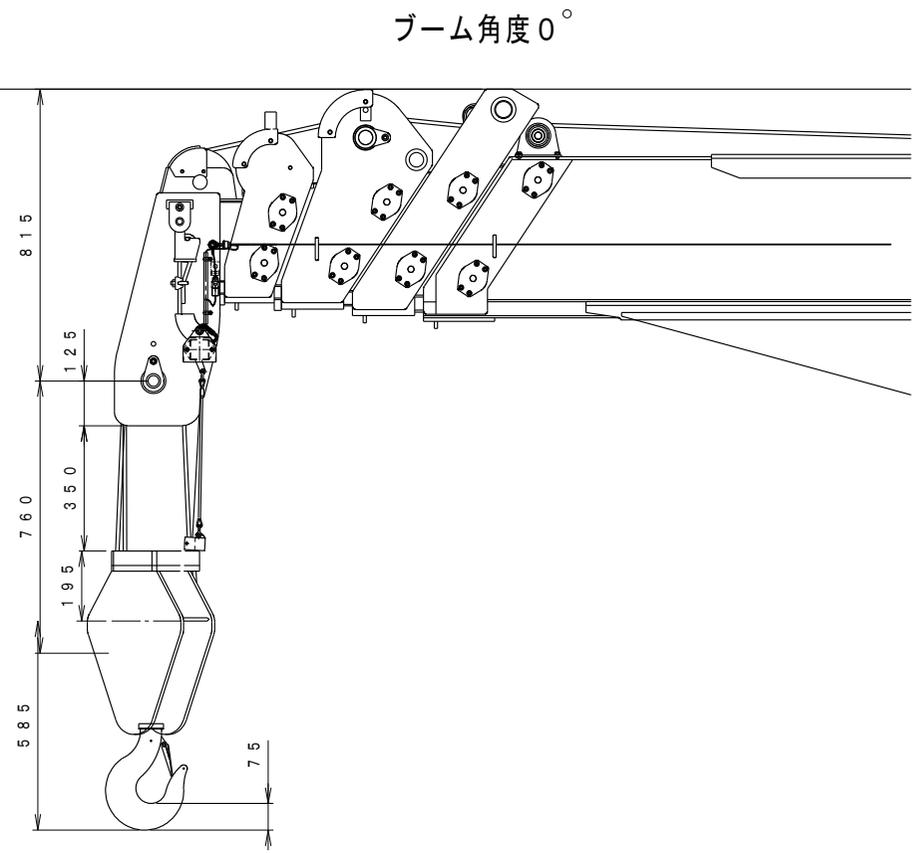
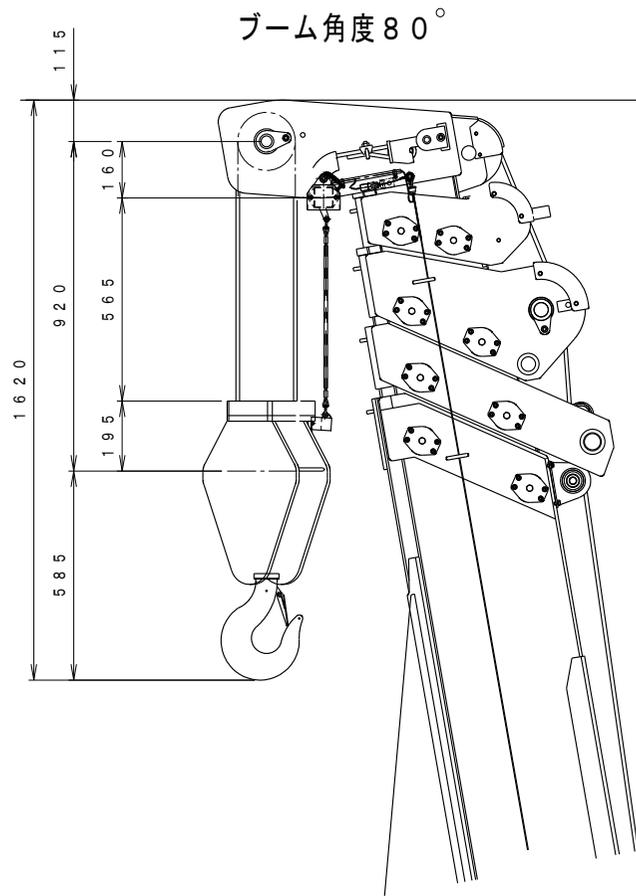


SAM07430

WORKING RADIUS AND LIFTING HEIGHT AT WIRE ROPE 1 FALLS



SAM07440



LC785M-8
ブーム先端寸法図

5.2 機械の吊り上げ方法 (LC785M-8)

5.2.1 ブームを伏せた状態での吊り上げ方法

⚠ 危険

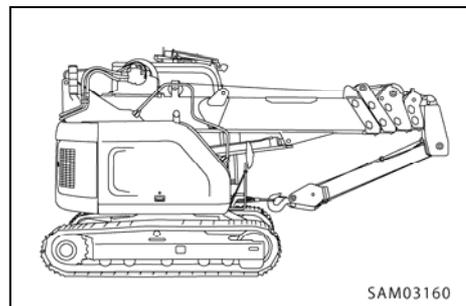
- ・本機械の寸法、質量は、「諸元編 1. 主要諸元」の項を参照してください。
- ・クレーンを使用して吊り上げ作業をする人は、クレーンの運転資格を取得した人でなければいけません。
- ・作業員を機械に乗せた状態で、吊り上げ作業を行ってはいけません。
- ・吊り上げに使用するワイヤロープやシャックル等の吊り具は、機械の質量に対して、十分強度のあるものを使用してください。
- ・吊り上げるときは、機械を水平状態にしてください。
- ・吊り上げ作業を行うときは、ロックレバーをロック位置にして、機械が不意に動かないようにしてください。
- ・吊り上げた機械の下や周辺には、絶対に入らないでください。
- ・下記の手順で示す姿勢以外の姿勢および吊り具で機械を吊り上げないでください。
機械のバランス（釣り合い）をくずす危険があります。

アドバイス

- ・機械を吊り上げるときは、同じ規格のワイヤロープを4本、シャックルを4個を使用してください。また、機械を吊り上げる際は、玉掛け用ワイヤロープが機械本体に接触しないようにしてください。
 - ・ワイヤロープ：破断荷重 18.7トン以上、JIS規格 6×37 B種 φ18×2.0m以上
 - ・シャックル：使用荷重 7.0トン以上、JIS規格 SCシャックル 呼び34
- ・ブームを伏せた状態で吊り上げるときは、必ずフックブロックを通常格納位置に格納してください。詳細は、「操作編 3. 19. 2 フックブロック通常格納時のクレーンの格納操作」の項を参照してください。

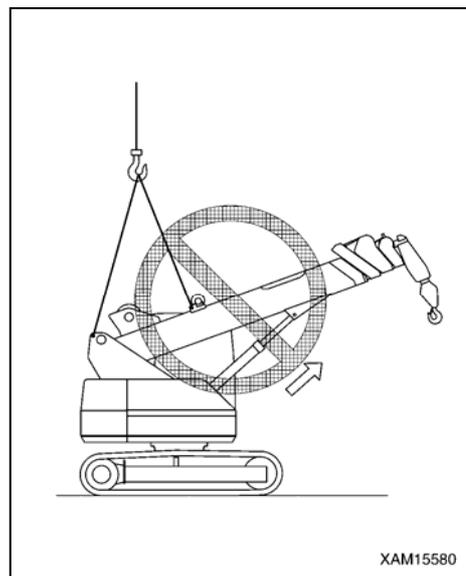
機械を吊り上げるときは、地盤の堅い平坦な場所で行ってください。

1. 「操作編 3. 19. 2 フックブロック通常格納時のクレーンの格納操作」の項を参照し、ブームを右図の姿勢にして、フックブロックとブームを車両本体に固定してください。

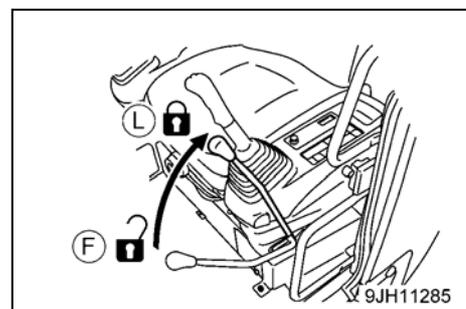


アドバイス

フックをブームの先端に格納した状態で吊り上げると、車両の重みでブームが起きてしまい吊り上げられません。
ブームを伏せた状態で吊り上げるときは、必ずフック掛けワイヤロープでフックとブームを車両本体に固定してください。



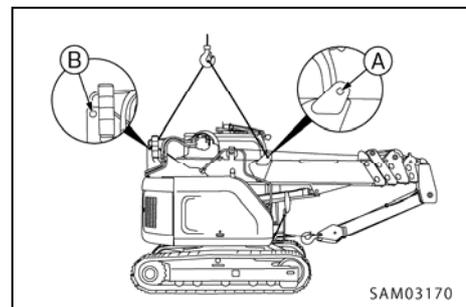
2. ロックレバーを確実にロック位置(L)にしてください。
3. エンジンを停止し、スタータスイッチのキーを抜き取ってください。運転席回りに何も無いことを確認し、機械から降りてください。
4. すべてのドア、窓、カバーを閉じてください。
ロック付ドア、カバー、キャップは、施錠してください。



5. クレーンブーム部の4箇所(A・B部)にシャックルを取り付け、玉掛け用ワイヤロープのつり角度を60度以下にして、ゆっくりと吊り上げてください。

補足説明

- 吊り上げた直後（地切り）、一旦停止して吊り具の状態や吊り姿勢を確認してください。
- 起伏シリンダヘッド側の油圧回路の漏れによる姿勢の変化がないか確認してください。
- 機体を吊り上げると、後方に約3.5度、運転席側に約2度傾斜します。傾斜角度は、ブーム角度および燃料の残量によって多少変わります。



5. 2. 2 ブームを起こした状態での吊り上げ方法

⚠ 危険

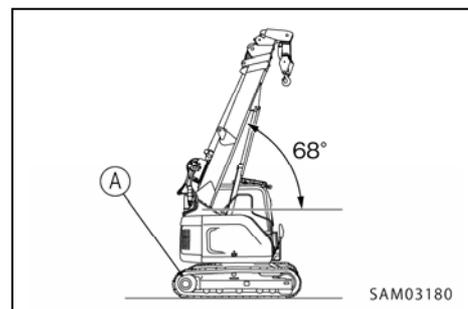
- ・本機械の寸法、質量は、「諸元編 1. 主要諸元」の項を参照してください。
- ・クレーンを使用して吊り上げ作業をする人は、クレーンの運転資格を取得した人でなければいけません。
- ・作業員を機械に乗せた状態で、吊り上げ作業を行ってはいけません。
- ・吊り上げに使用するワイヤロープやシャックル等の吊り具は、機械の質量に対して、十分強度のあるものを使用してください。
- ・吊り上げるときは、機械を水平状態にしてください。
- ・吊り上げ作業を行うときは、ロックレバーをロック位置にして、機械が不意に動かないようにしてください。
- ・吊り上げた機械の下や周辺には、絶対に入らないでください。
- ・以下の手順で示す方法、吊り具の取付け位置（クレーンフレーム部左右2箇所）以外で、絶対に機械を吊り上げてはいけません。やむを得ず、他の方法で機械を吊り上げる必要がある場合は、当社または当社販売サービス店に相談してください。

アドバイス

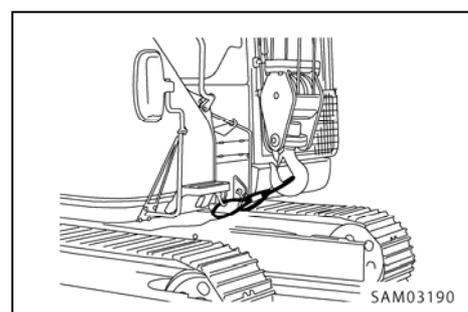
- ・機械を吊り上げるときは、同じ規格の玉掛け用ワイヤロープを2本、シャックルを2個使用してください。
 - ・ワイヤロープ：破断荷重 36.0トン以上、JIS規格 6×37 B種 φ25×5.0m以上
 - ・シャックル：使用荷重 7.0トン以上、JIS規格 SCシャックル 呼び34
- ・ブームを起こした状態で吊り上げるときは、必ずフックブロックを通常格納位置に格納してください。詳細は、「操作編 3. 19. 2 フックブロック通常格納時のクレーンの格納操作」の項を参照してください。

機械を吊り上げるときは、地盤の堅い平坦な場所で行う手順で行ってください。

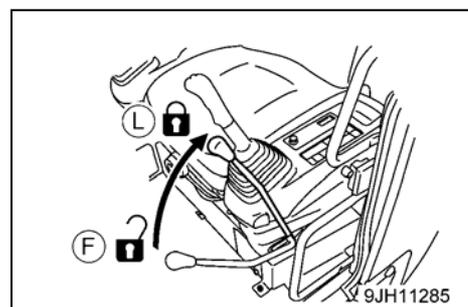
1. ブームを全縮して68度まで起してください。



2. 「操作編 3. 19. 2 フックブロック通常格納時のクレーンの格納操作」の項を参照して、フックブロックを格納用ロープに掛けてください。
3. スプロケット(A)が機械後方になるように、上部旋回体を旋回させてください。



4. ロックレバーを確実にロック位置(L)にしてください。
5. エンジンを停止して、スタータスイッチのキーを抜き取ってください。運転席周りに何も無いことを確認し、機械から降りてください。
6. すべてのドア、窓、カバーを閉じてください。ロック付ドア、カバー、キャップは、施錠してください。



7. クレーンフレーム部の左右2箇所にはしゃくを取り付け、玉掛け用ワイヤロープを掛けてください。

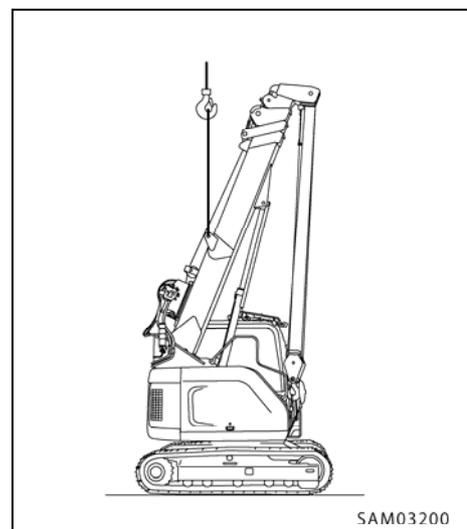
補足説明

この際、玉掛け用ワイヤロープと機体が接触する部分に当て物をしてから、吊り上げてください。

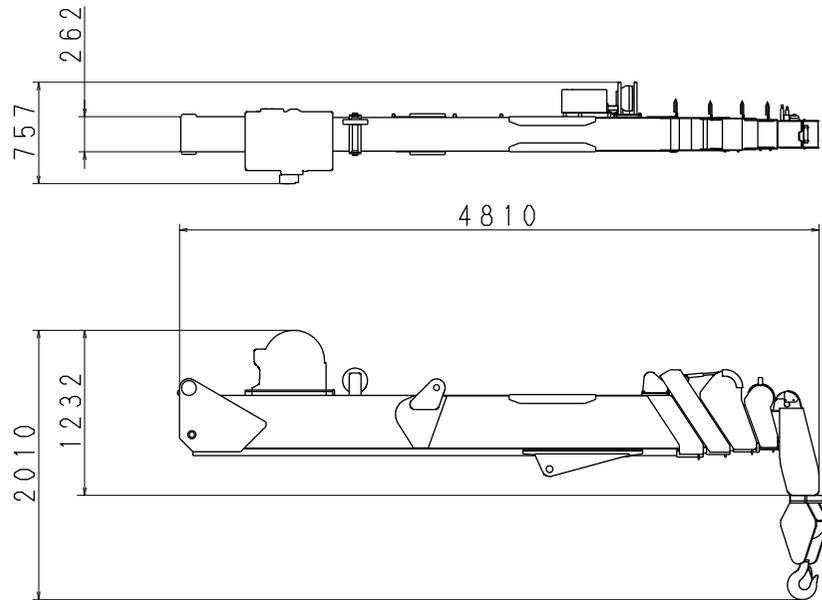
8. 機械をゆっくりと吊り上げてください。

補足説明

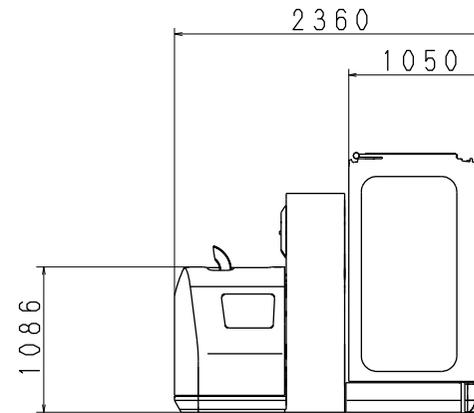
- ・吊り上げた直後（地切り）、一旦停止して吊り具の状態や吊り姿勢を確認してください。
- ・起伏シリンダヘッド側の油圧回路の漏れによる姿勢の変化がないか確認してください。
- ・機体を吊り上げると、前方に約0度、運転席側に約1度傾斜します。傾斜角度は、ブーム角度および燃料の残量によって多少変わります。



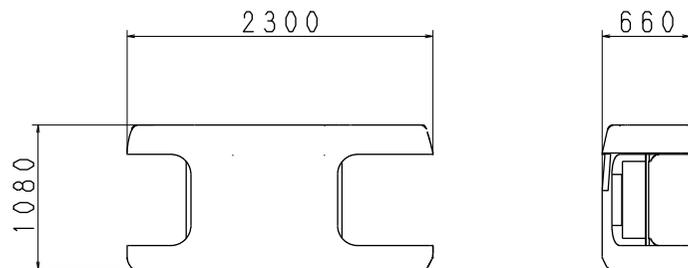
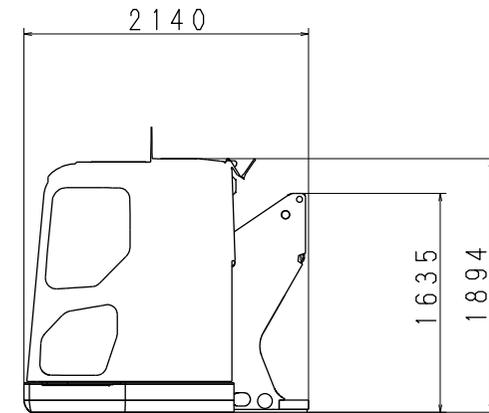
LC785M-8 分割重量



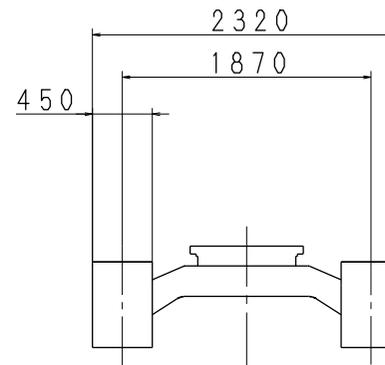
① ブーム・ウインチ・Tシリンダ・フック・ワイヤ
1755kg (フック 90kg)
(Dシリンダ 115kg 含む)



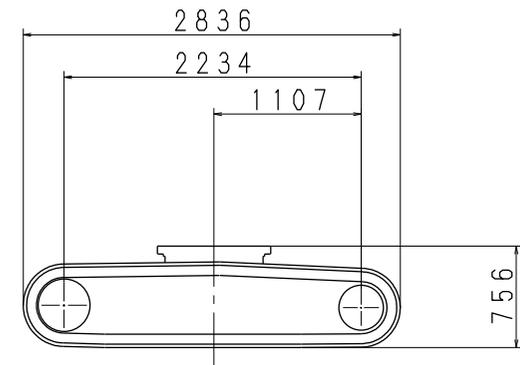
③ キャビン レボフレーム
3185kg



② カウンターウエイト
2520kg



④ トラックフレーム 旋回輪
2240kg



※③キャビン・レボフレームと④トラックフレームの
分割は大掛かりな作業となります。
特に現場作業は難しくなりますのでご注意ください。

全体重量 9,700kg